

平成
30
年度
決算



グラフと写真でみる
まちの**決算**と
財政状況

北海道栗山町

もくじ



グラフでみる決算概要

○全会計の決算概要と推移	2
○一般会計の決算概要	4
○国民健康保険特別会計の決算概要	6
○北海道介護福祉学校特別会計の決算概要	7
○介護保険特別会計の決算概要	8
○後期高齢者医療特別会計の決算概要	9
○住宅団地造成事業特別会計の決算概要	10
○工業団地造成事業特別会計の決算概要	11
○水道事業会計の決算概要	12
○下水道事業会計の決算概要	13



写真でみる主な実施事業

- 栗山町第6次総合計画の主要施策より -	15
-----------------------	----



グラフでみるまちの財政状況

○基金残高の推移	22
○町債残高の推移	23
○財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況	24

参考

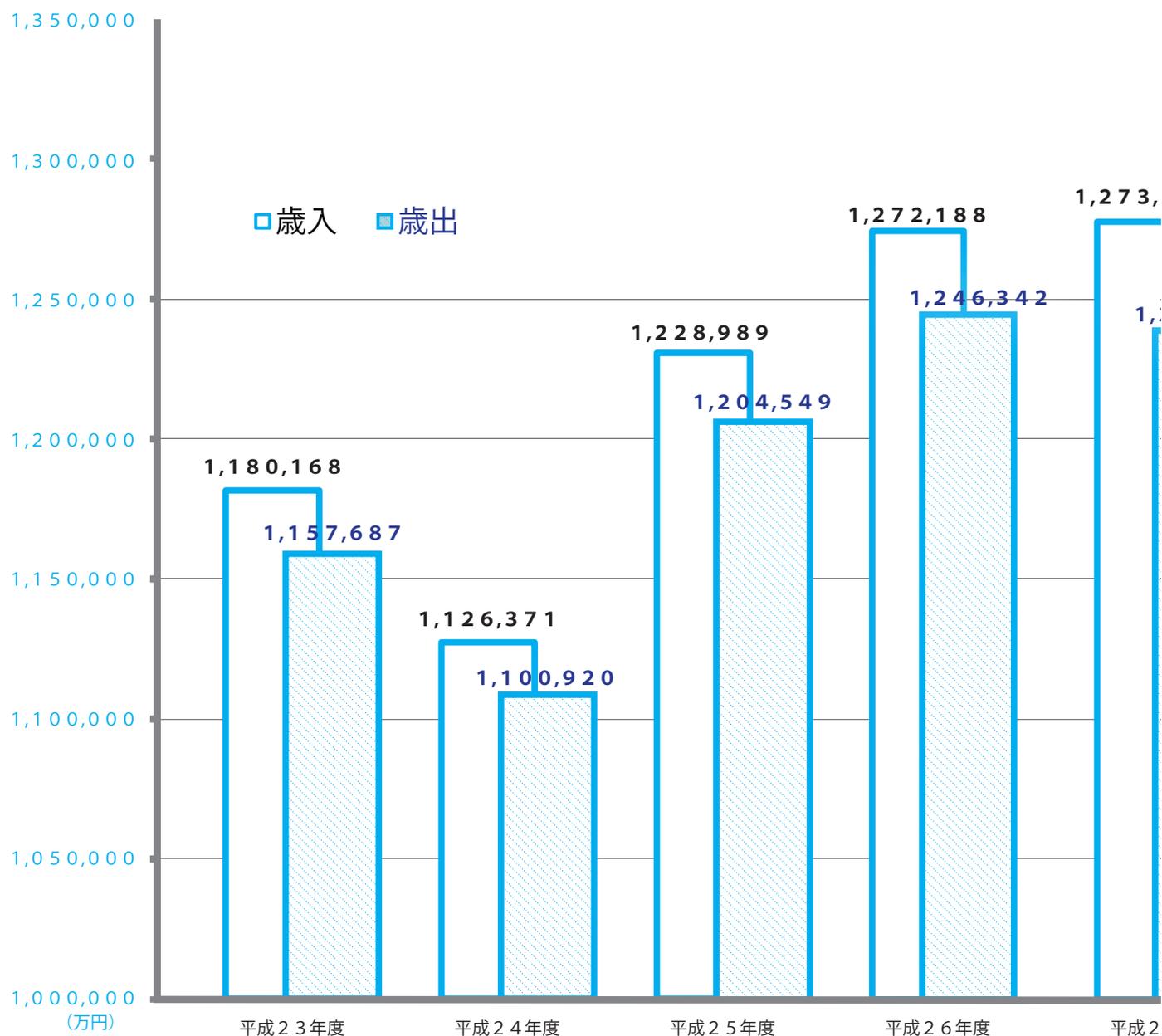
南空知9市町の平成29年度普通会計決算概要	25
-----------------------	----



グラフでみる

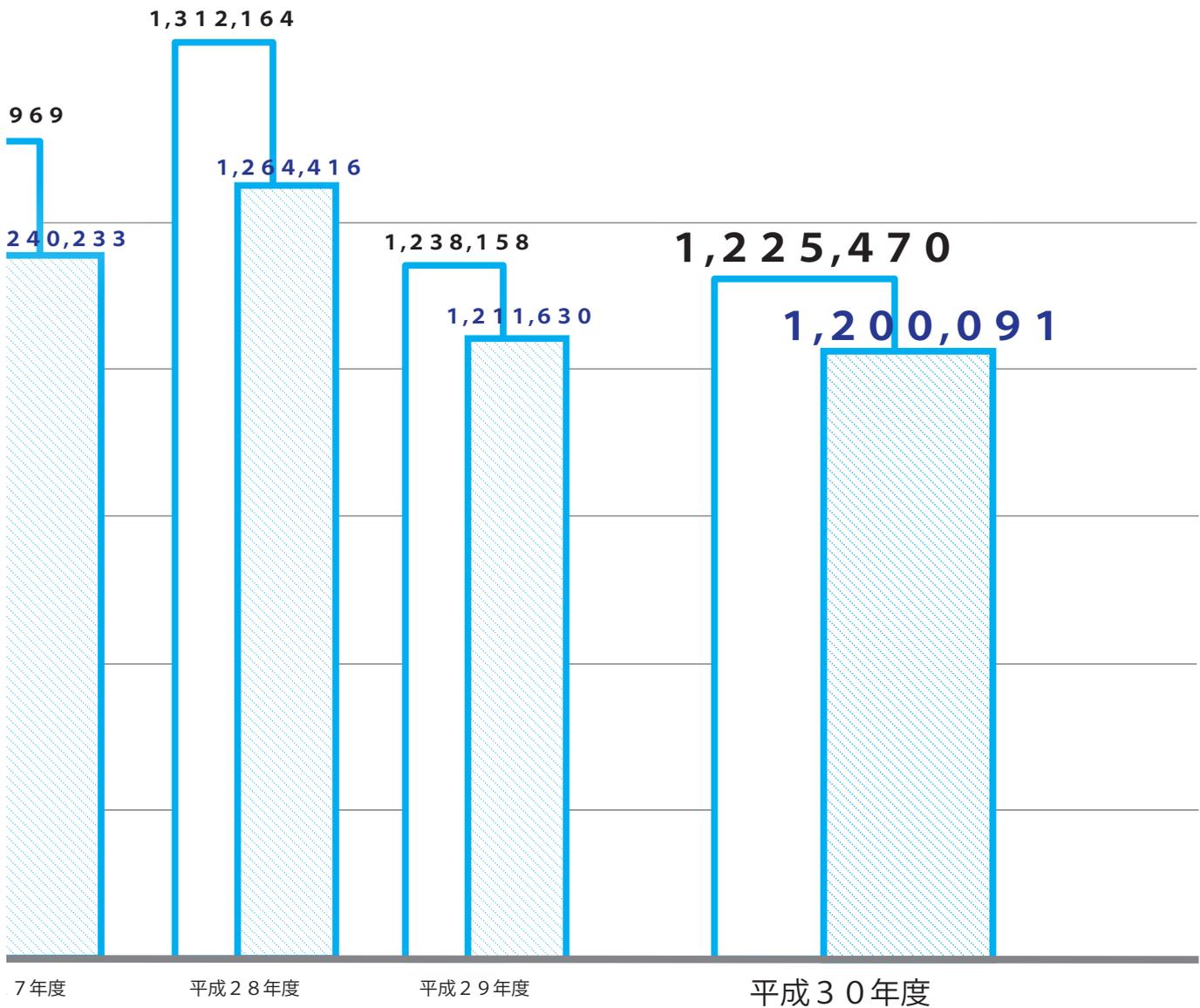
決算概要

全会計の決算概要と推移



平成30年度の一般会計・特別会計（国民健康保険特別会計、北海道介護福祉事業特別会計、工業団地造成事業特別会計）・企業会計（水道事業会計、下水道企業会計を除いた会計の平成30年度決算総額は、歳入で122億5,470万1,539万円の減）となりました。

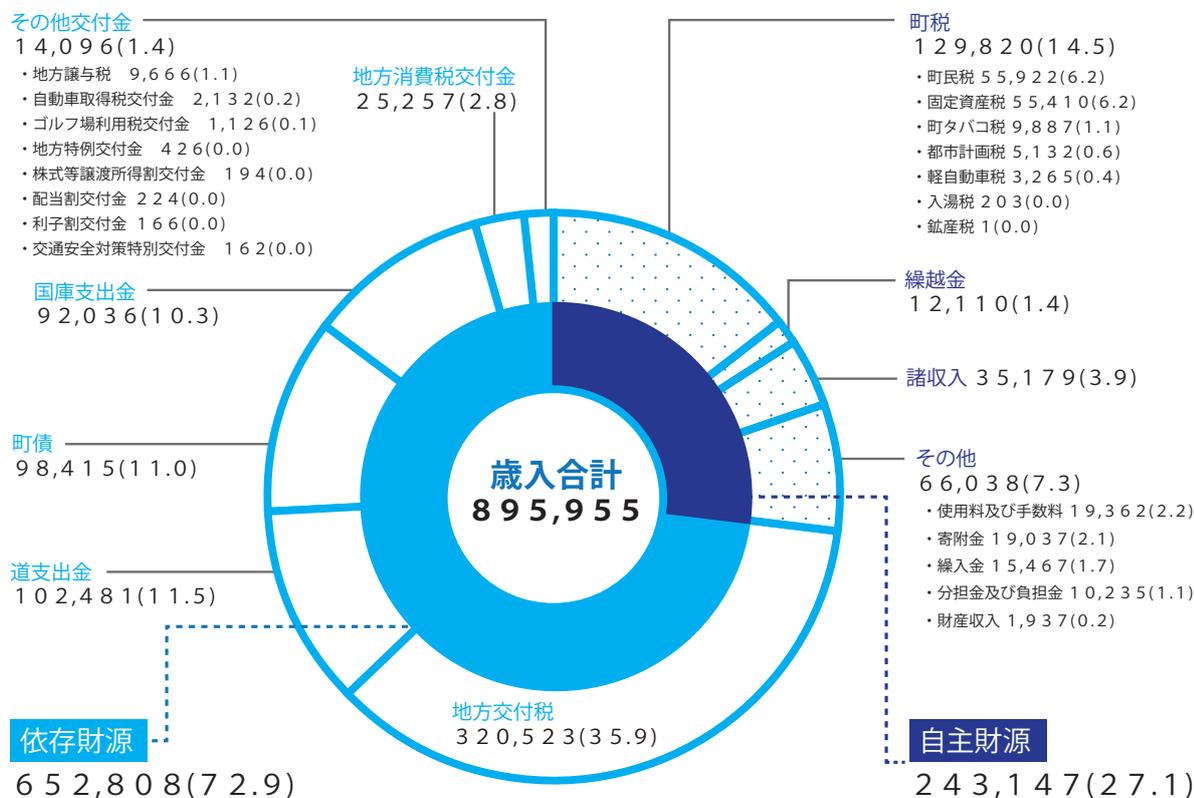
※企業会計（水道事業・下水道事業）を除いた
全会計の合計値です。



社学校特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅団地造成事業会計）の決算が9月議会定例会で認定されました。

万円（前年比1億2,688万円の減）。歳出で120億91万円（前年比1億

一般会計の決算概要

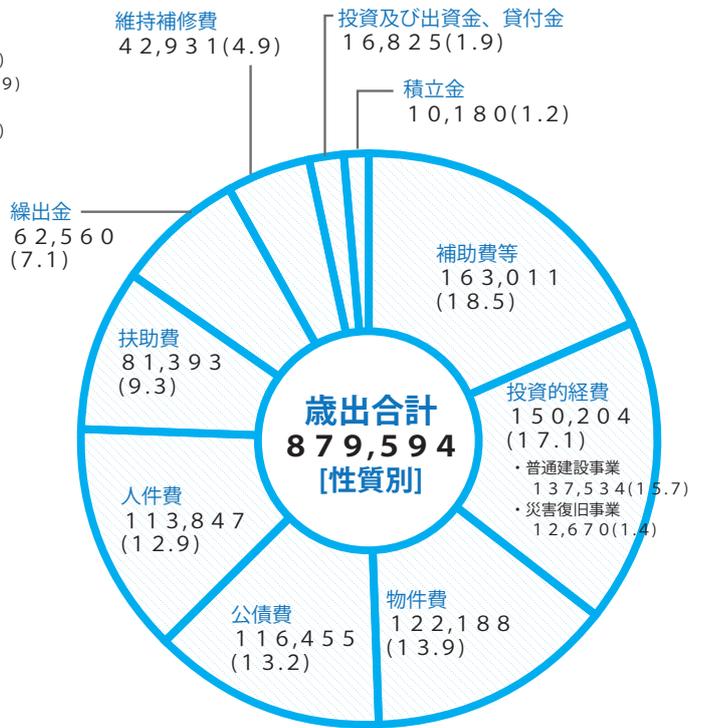
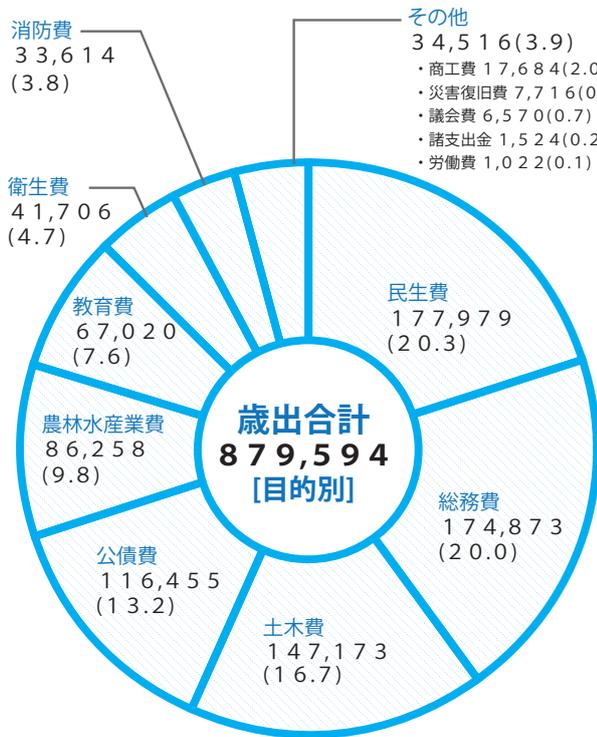


※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入総額は89億5,955万円。
前年比1億8,015万円の増。

一般会計とは行政運営の基本となる会計で、福祉や教育、消防などまちづくりに広く関わる事業における会計です。歳入（収入）総額は89億5,955万2,870円。歳出（支出）総額は87億9,593万5,133円となり、差額の1億6,361万7,737円を次年度に繰り越しました。

なお、繰越額の中には、次年度に実施する事業財源1,020万円が含まれているため、実質収支は1億5,341万7,737円になりました。



※単位は万円。
 ()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

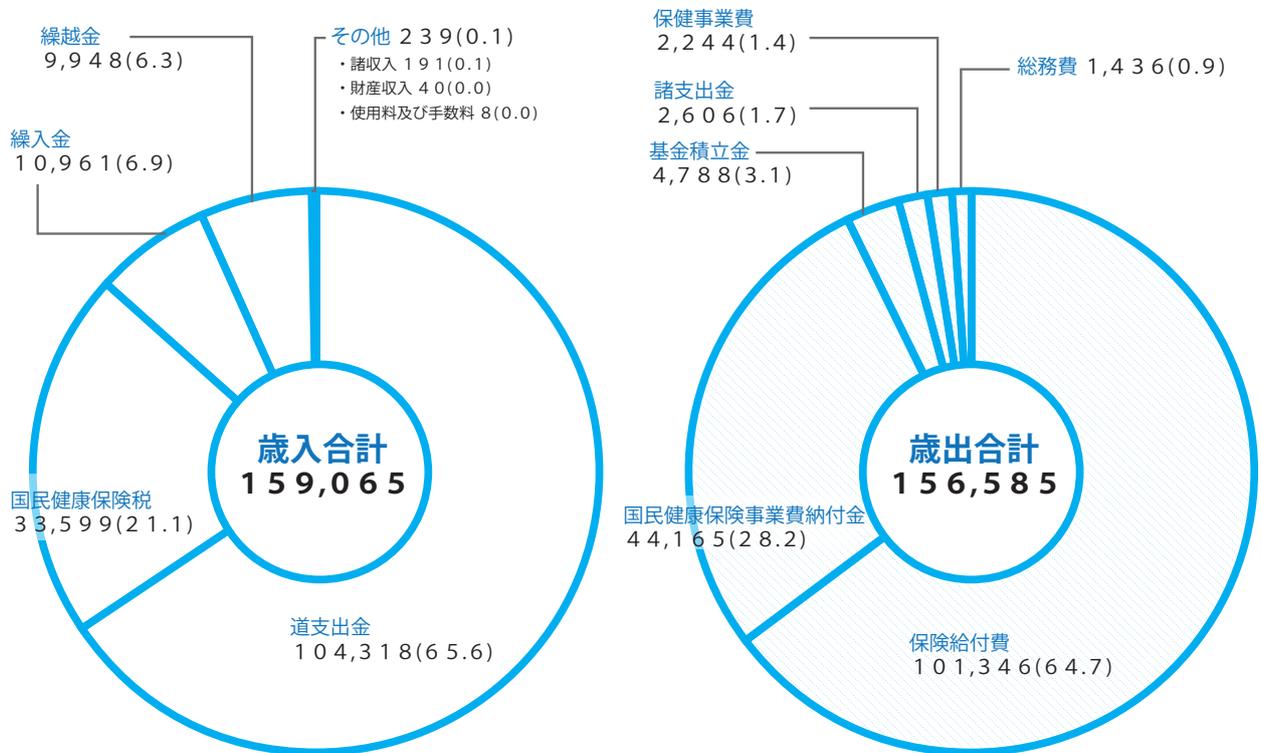
歳出総額は87億9,594万円。
 前年比1億3,763万円の増。

歳入は、国庫支出金や地方交付税の増により、前年度比で約1億8,015万円の増となりました。歳入全体の構成は町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が27.1%、地方交付税や国・道からの交付金などの依存財源の割合が72.9%となりました。

歳出は、前年度比で約1億3,763万円の増となりました。増減が大きい費目としては、農林水産業費が畑作構造転換事業実施などにより約1億1,361万円の増、民生費が認定こども園の施設整備完了などにより約1億6,678万円の減となりました。

歳出全体の構成は、民生費が最も多く、次に総務費、土木費と続いています。

国民健康保険特別会計の決算概要



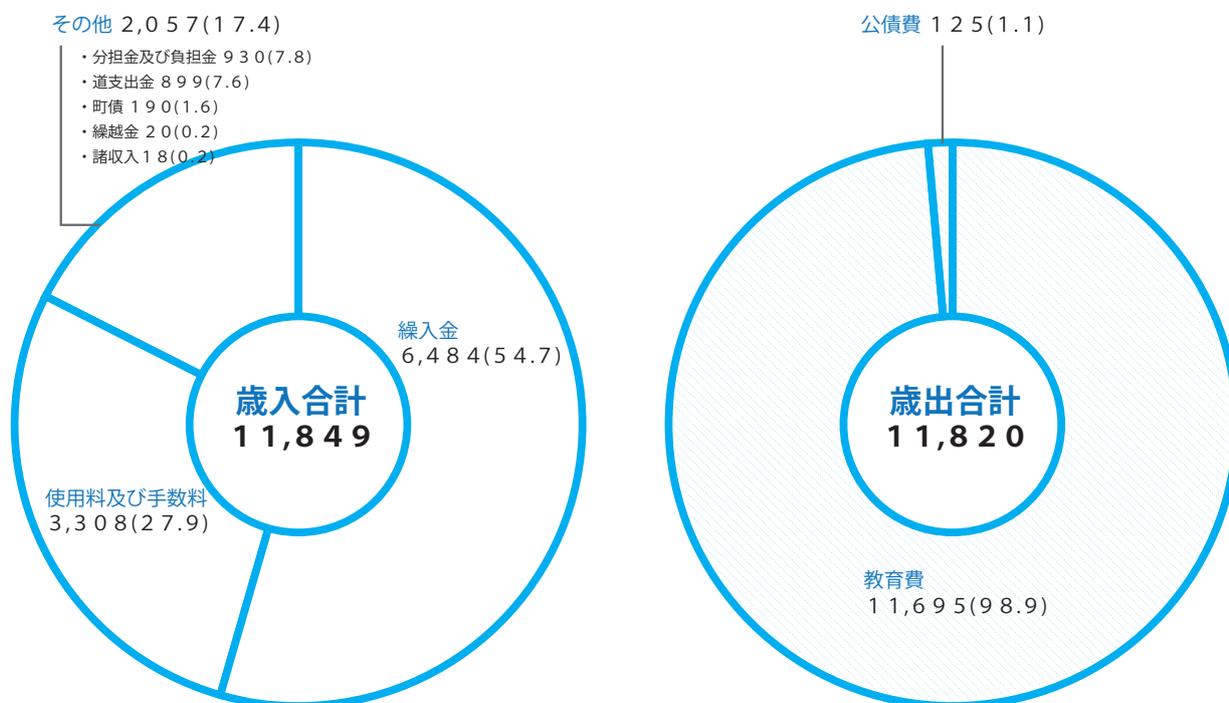
※単位は万円。
 ()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入15億9,065万円。歳出15億6,585万円。
 2,480万円を翌年度に繰り越しました。

国民健康保険特別会計とは、国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

平成30年度末の国民健康保険に加入している世帯数は1,751世帯、被保険者数は2,978人で、町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。

北海道介護福祉学校特別会計の決算概要



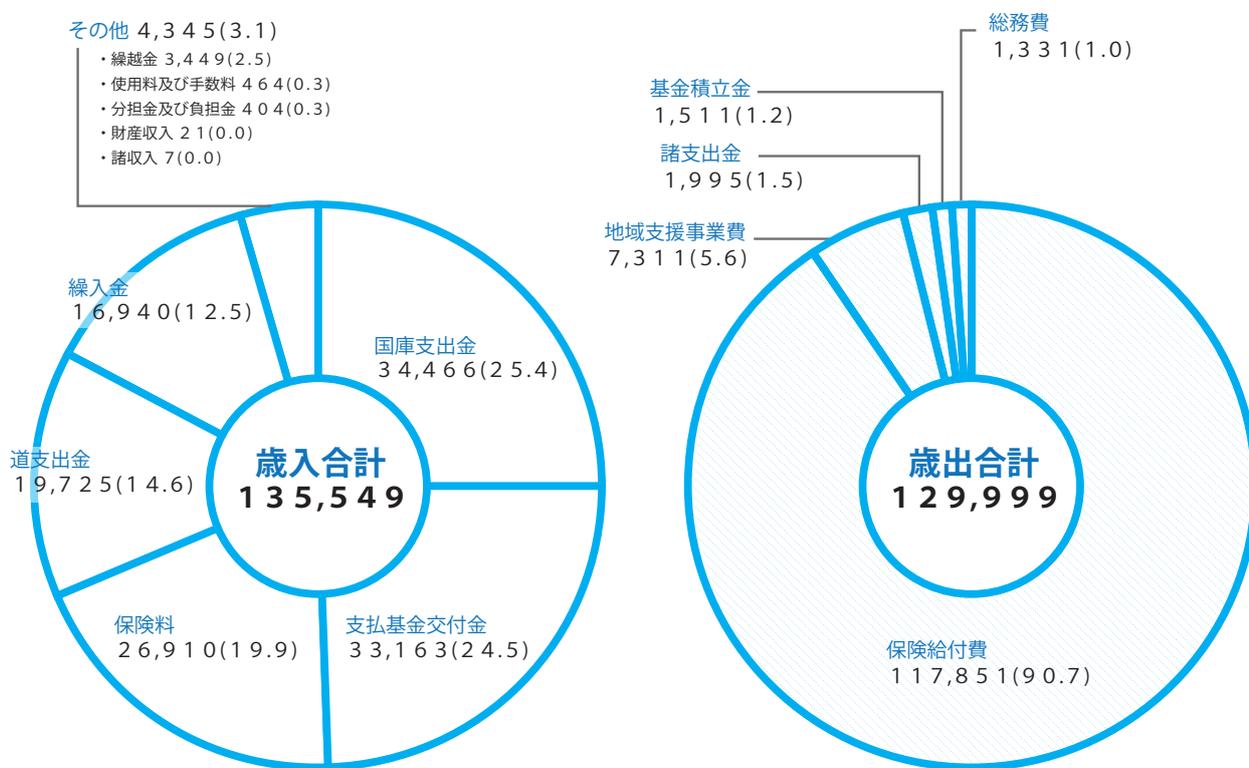
※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入1億1,849万円。歳出1億1,820万円。
29万円を翌年度に繰り越しました。

北海道介護福祉学校特別会計とは、町立北海道介護福祉学校の運営のため、一般会計と区分された会計です。

社会情勢などにより入学者数は減少傾向であるものの、介護福祉士人材の求人数は堅調で、開校以来30年連続就職率100%を継続しました。

介護保険特別会計の決算概要



※単位は万円。
 ()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

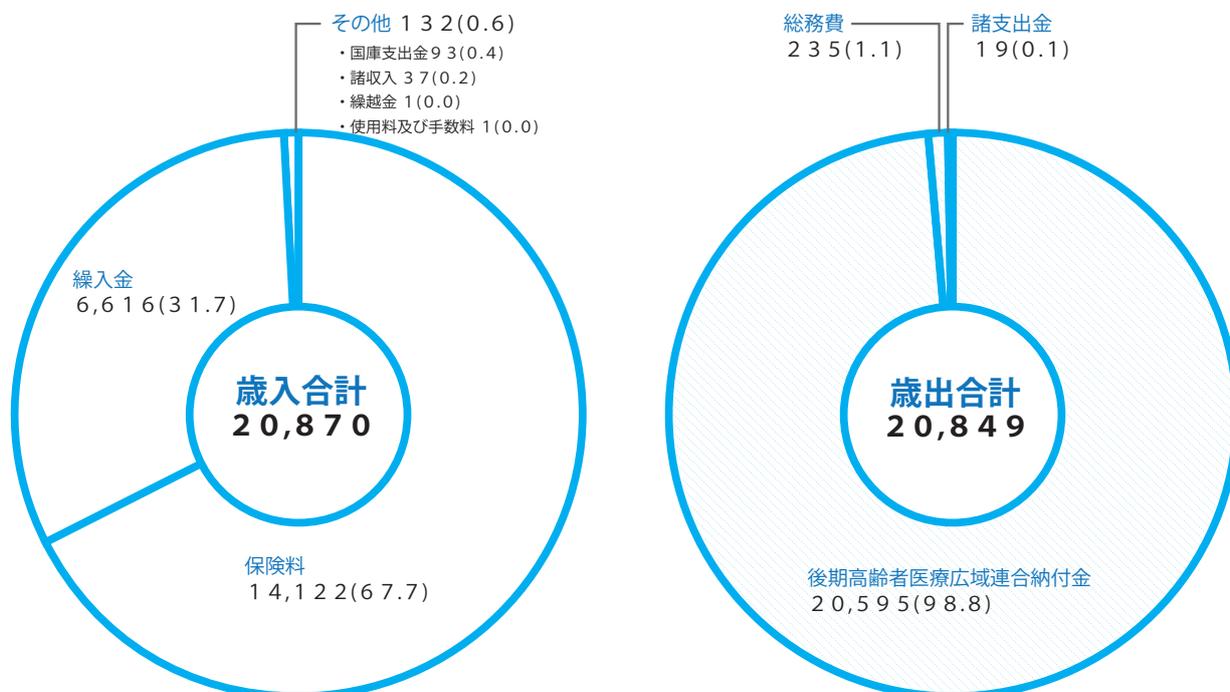
歳入13億5,549万円。歳出12億9,999万円。
 5,550万円を翌年度に繰り越しました。

介護保険特別会計とは、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、福祉の増進に努めました。

また、将来に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

後期高齢者医療特別会計の決算概要



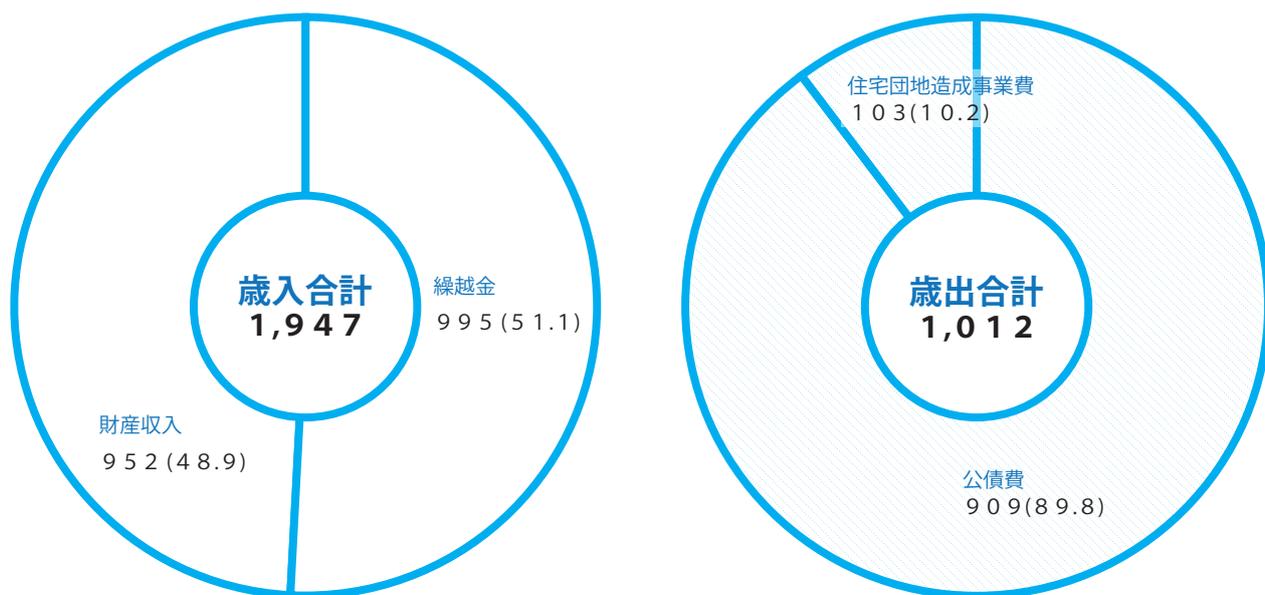
※単位は万円。
 ()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入2億870万円。歳出2億849万円。
 21万円を翌年度に繰り越しました。

後期高齢者医療特別会計とは、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

北海道後期高齢者医療広域連合が主体となって運営していますが、本町では高齢者の健康保持と増進のため、被保険者の資格管理の窓口事務や保険料の徴収などを行い、医療費の適正化に努め、健全な医療給付を進めました。

住宅団地造成事業特別会計の決算概要



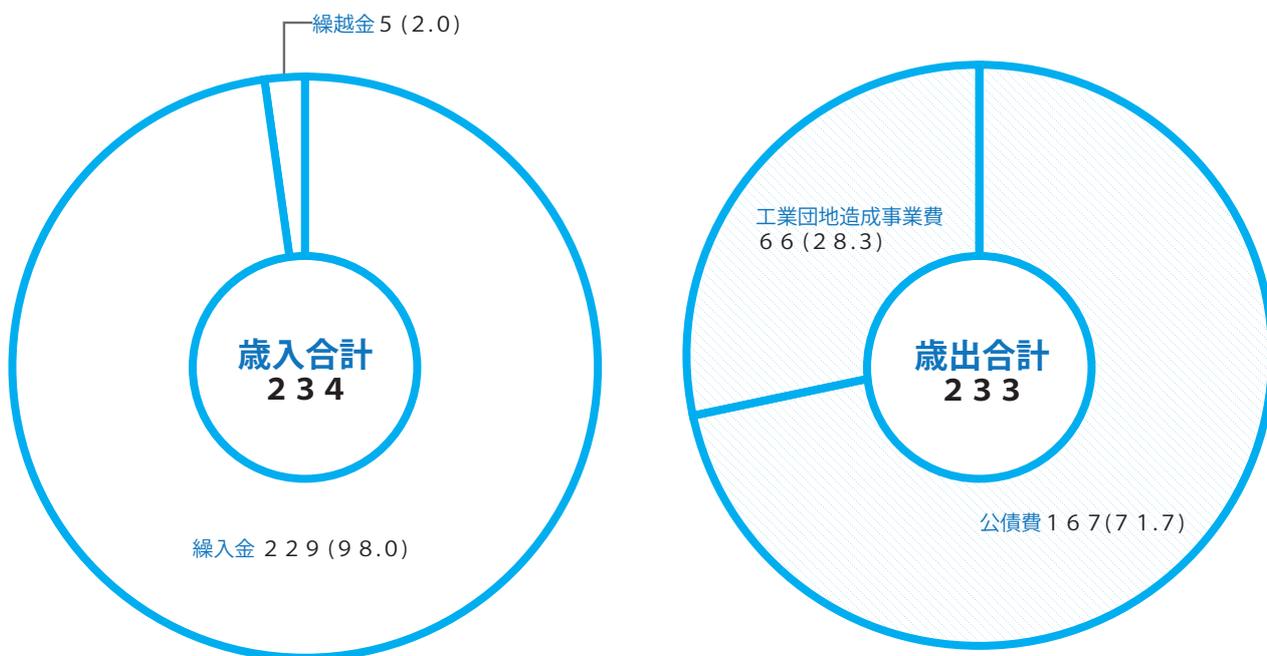
※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入1,947万円。歳出1,012万円。
935万円を翌年度に繰り越しました。

住宅団地造成事業特別会計とは、朝日4丁目住宅団地第4期造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成27年10月より分譲を開始（全17区画）し、平成30年度末までに7区画を販売しました。

工業団地造成事業特別会計の決算概要



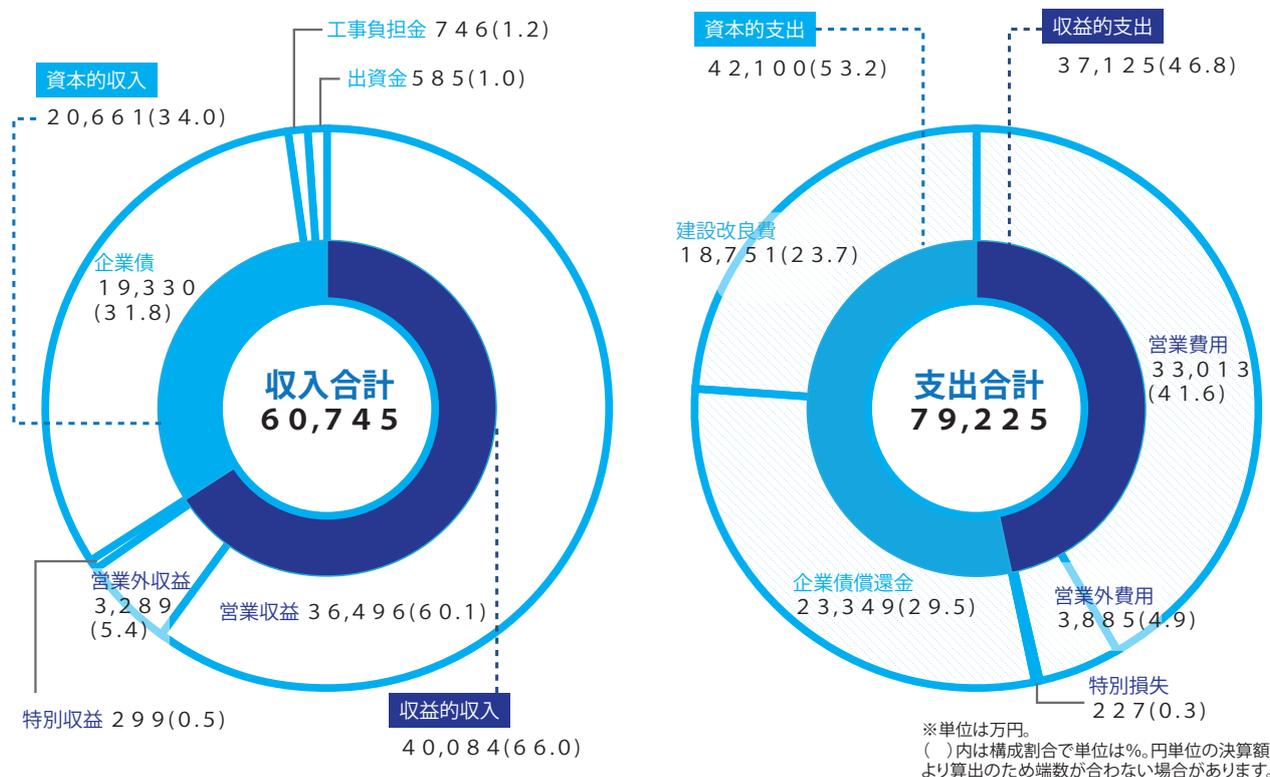
※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入234万円。歳出233万円。
1万円を翌年度に繰り越しました。

工業団地造成事業特別会計とは、第4工業団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成30年度から分譲を開始した第4工業団地の管理および販売促進を行いました。

水道事業会計の決算概要



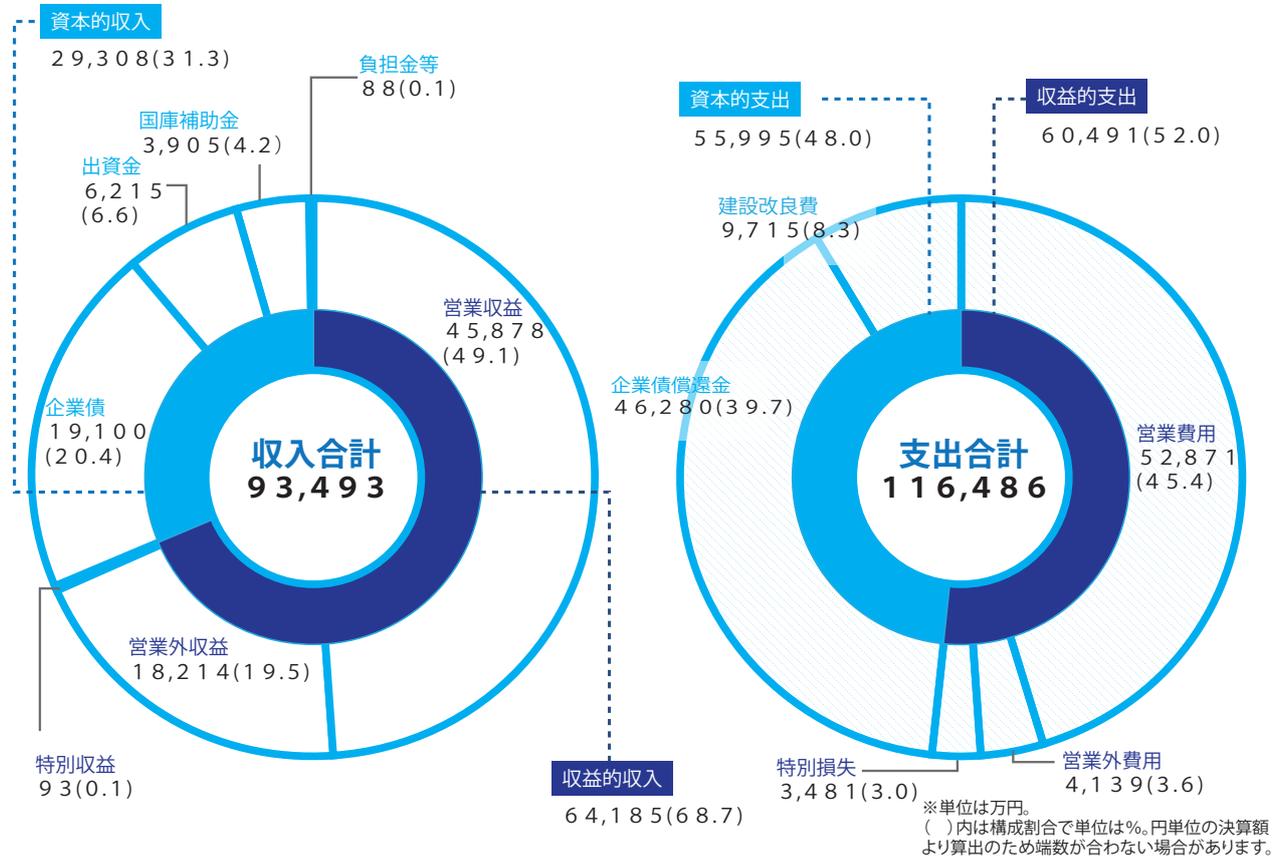
収入6億745万円。支出7億9,225万円。
 会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

水道事業会計とは、水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。

水をつくりご家庭などに届けるための経費(収益的収支)では、2,959万円の黒字となりましたが、浄水場の設備更新や配水管の整備などに使用するための経費(資本的収支)では2億1,439万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金(損益勘定留保資金など)で補てんしました。

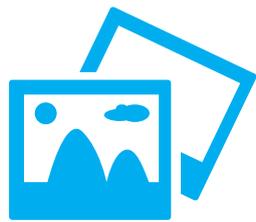
下水道事業会計の決算概要



収入9億3,493万円。支出11億6,486万円。
 会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

下水道事業会計とは、下水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。下水道管や下水道管理センターの維持管理に必要な経費（収益的収支）では3,694万円の黒字となりましたが、下水道管や下水道管理センターの設備更新や取り替えなどに使用するための経費（資本的収支）では2億6,687万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。



写真でみる

主な実施事業

栗山町第6次総合計画
の主要施策より

※栗山町第6次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名、決算額及び、事業に関連した写真を掲載しています。

計画
事業
141

公営住宅の整備・改修を行います。



(建て替えをした曙団地)

決算額 **425,568** 千円

計画
事業
112

栗山の特性を生かした良質な農産物の生産を推進します。



(農業機械購入を支援)

決算額 **283,160** 千円

計画
事業
51

優秀な介護福祉士を毎年80名輩出し、これからの高齢化社会を支える人材を創出します。



(北海道介護福祉学校卒業式)

決算額 **118,044** 千円

計画
事業
152

新町地区の再開発整備事業に取り組みます。



(栗山駅南交流拠点施設予定地)

決算額 **76,553** 千円

計画
事業
148

老朽化した下水道施設を計画的に更新します。



(設備を更新した下水道管理センター)

決算額 **71,172** 千円

計画
事業
161

老朽化した公園施設の安全確保のため、計画的に修繕・更新を行います。



(更新した栗山公園展望台)

決算額 **67,221** 千円

計画
事業
102

生活支援を中心とした地域包括ケア
の充実を図ります。



(更新した栗山町医療・介護マップ)
決算額 **58,960** 千円

計画
事業
11

災害用物資の計画的な備蓄を進める
とともに、備品保管倉庫を整備します。



(新築した防災備蓄倉庫)
決算額 **52,806** 千円

計画
事業
20

消防団施設の更新など、充実・強化
を図ります。



(更新した第2分団第2部車 (ポンプ車))
決算額 **30,384** 千円

計画
事業
4

埋立てごみの減容を推進します。



(ごみの破碎処理により最終処分場を延命化)
決算額 **25,733** 千円

計画
事業
94

児童の健全な遊び・活動の場と、放
課後の居場所づくりを進めます。



(児童センターイベント「冬をたのしもう」)
決算額 **24,617** 千円

計画
事業
92

子ども医療費を助成します。



(高校3年生までの子どもの医療費を助成)
決算額 **24,374** 千円

計画
事業
76

歴史的建造物などの保存・継承に向けた支援制度を検討します。



(登録有形文化財である小林酒造酒蔵群の修繕を支援)

決算額 **24,000** 千円

計画
事業
129

栗山町への移住・定住を促進します。



(東京で開催した移住相談会)

決算額 **23,316** 千円

計画
事業
137

除雪用重機を計画的に更新します。



(購入した歩道用小型ロータリー除雪車)

決算額 **20,380** 千円

計画
事業
192

くりやま若者シティプロモーション事業を推進します。



(クリエイターによるワークショップ)

決算額 **16,159** 千円

計画
事業
69

老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。



(修繕した栗山プールサイドマット)

決算額 **15,448** 千円

計画
事業
66

教育効果向上のため、観察飼育舎とふれあいプラザの機能統合を図ります。



(7月にオープンした「ふるさといきものの里オオムラサキ館」)

決算額 **13,807** 千円

計画
事業
63

ハサンベツ地区の里山環境を保全・再生します。



(ハサンベツ里山でのボランティア作業)

決算額 **13,675** 千円

計画
事業
123

積極的な企業誘致活動を行います。



(更新した工業団地看板)

決算額 **11,911** 千円

計画
事業
79

がんの早期発見・早期治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。



(検診バスによるがん検診)

決算額 **10,735** 千円

計画
事業
108

障がい者の社会参画と自立支援に取り組む団体・事業者などを支援します。



(児童通所施設の開設を支援)

決算額 **9,766** 千円

計画
事業
193

ものづくりDIY工房の導入・活用を推進します。



(DIY工房ワークショップ)

決算額 **8,600** 千円

計画
事業
164

まちづくり協議会などの地域活動を支援します。

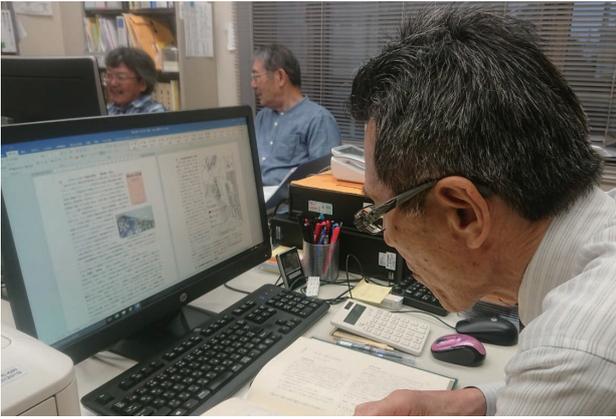


(まちづくり協議会主催の「防災学習会」)

決算額 **2,740** 千円

計画
事業
184

栗山町史（平成史）を編集・発刊します。



(町史編集作業の様子)

決算額 **2,010** 千円

計画
事業
21

交通安全運動・教育を推進します。



(町内各小学校での交通安全教室)

決算額 **1,630** 千円

計画
事業
179

地域振興対策や事務共同処理の検討など、広域連携の推進を図ります。



(広域8市町村連携による学生ボランティア受入事業)

決算額 **1,310** 千円

計画
事業
167

町民団体が連携・協力する地域活性化・賑わい創出活動を支援します。



(町内児童の地域魅力再発見事業)

決算額 **1,174** 千円

計画
事業
6

町内会・自治会などによる、地域環境美化の運動を支援します。



(全町一斉清掃)

決算額 **459** 千円

計画
事業
187

町長のまちづくり懇談会を行います。



(まちづくり懇談会)

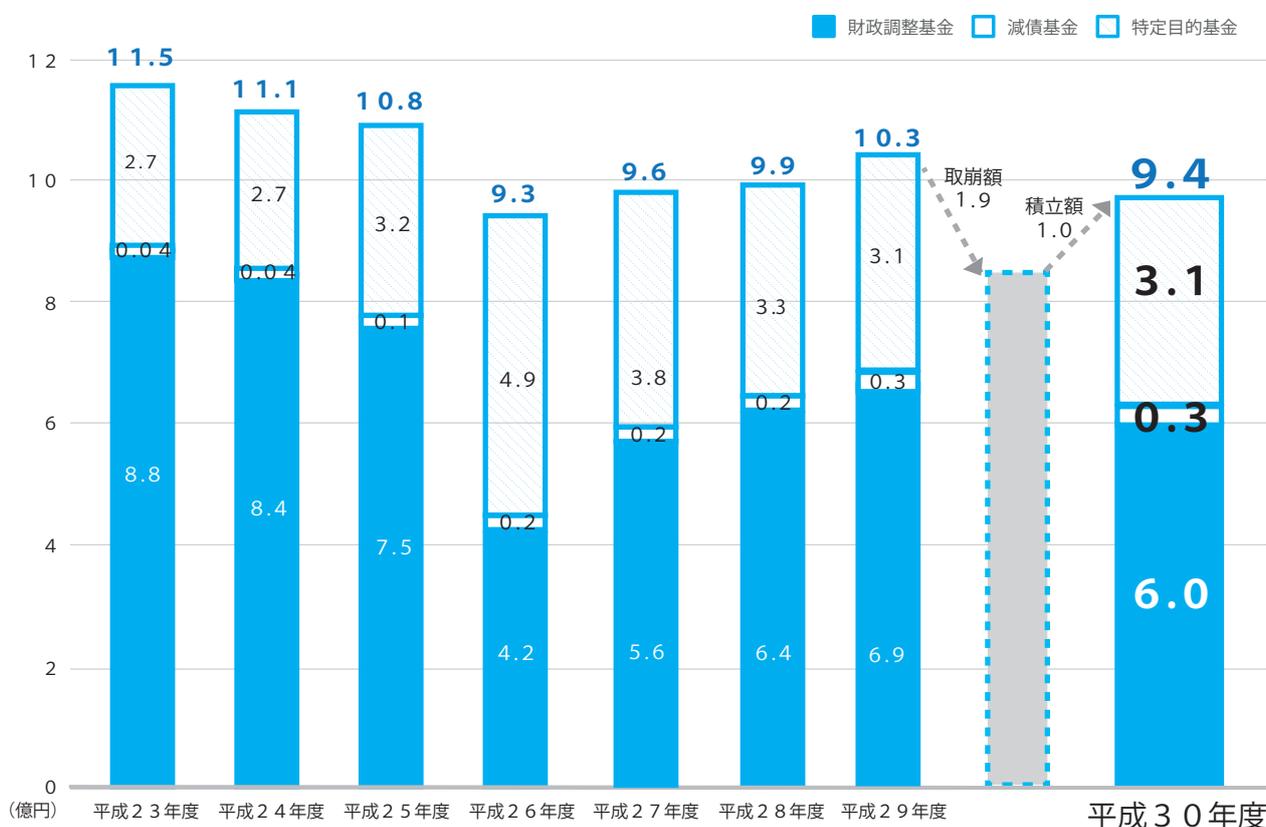
決算額 **48** 千円



グラフでみる

まちの財政状況

基金残高の推移（一般会計）

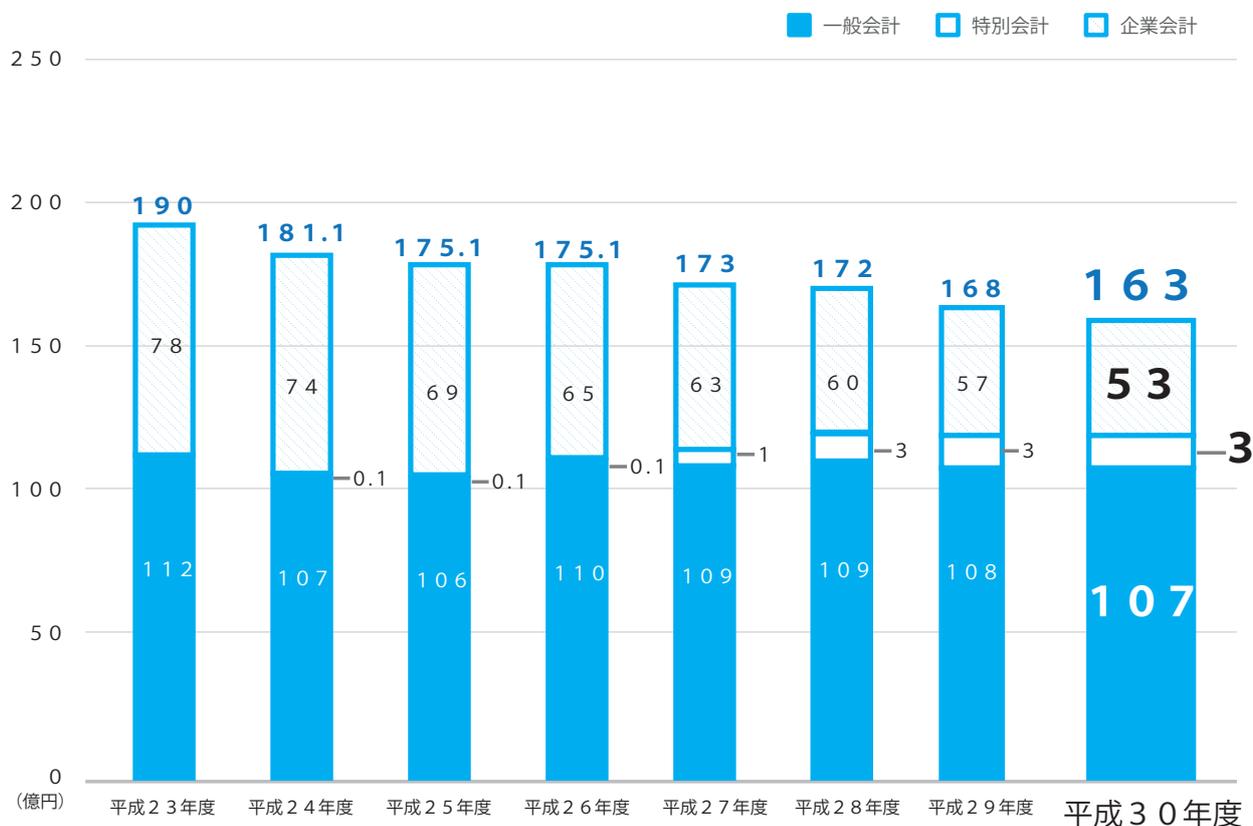


基金の年度末残額は9億4,862万円。
前年比8,665万円の減になりました。

安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で9億4,862万円になり、前年度比で8,665万円の減となりました。

なお、平成30年度における取り崩し額は1億8,845万円で、積み立て額は1億180万円です。

町債残高の推移（全会計）



町債の年度末残高は163億7,749万円。
前年比4億2,972万円の減になりました。

町債（町の借り入れ金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないよう、町総合計画や行財政改革推進計画等に基づき、計画的な借り入れを行っています。

町債の年度末残高は全会計分で163億7,749万円となり、前年比で4億2,972万円の減となりました。

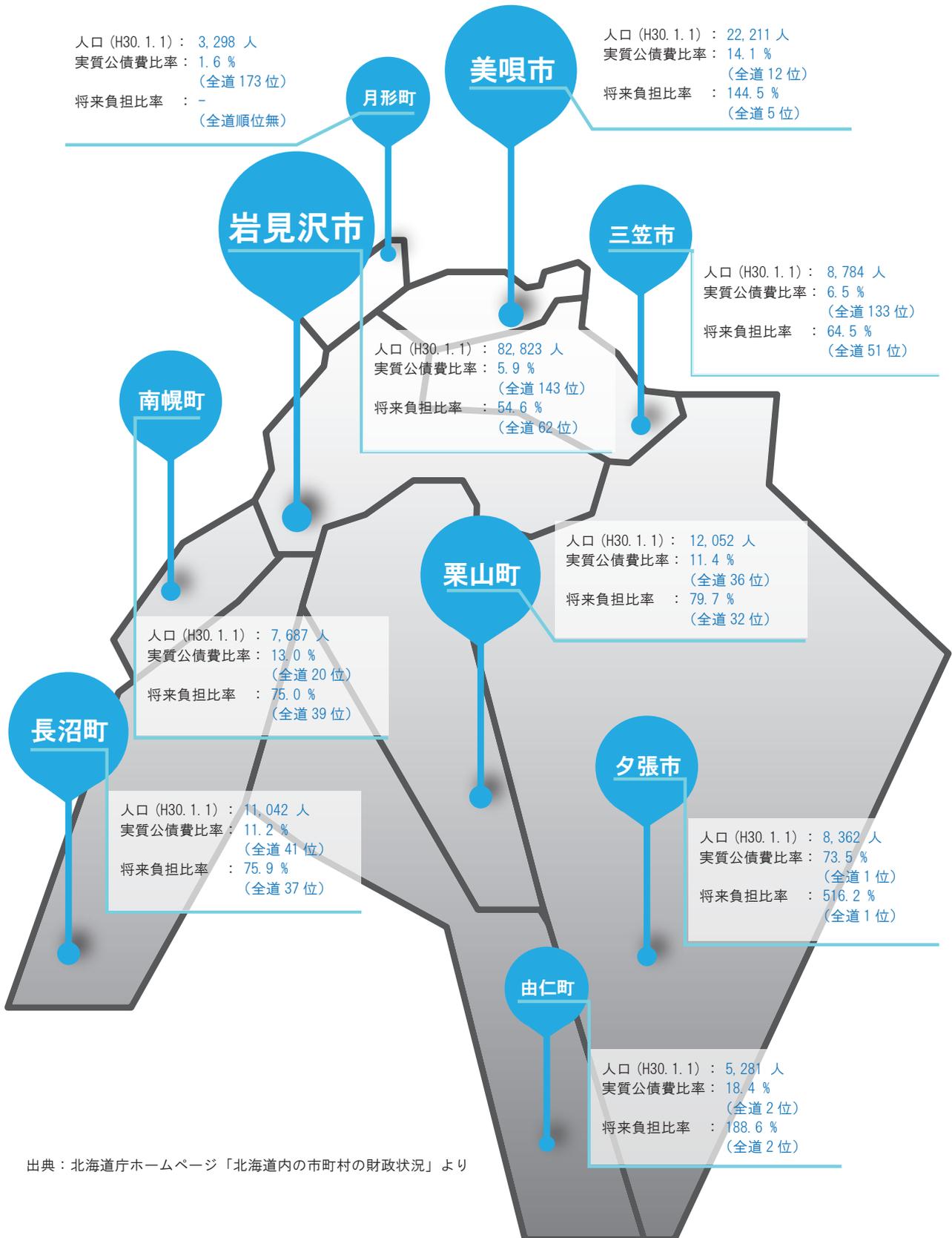
財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況

指 標	指標の説明	比 率 (H30 決算)	全道市町村 の平均 (H29 決算)	基準値		
				早期健全化 基 準	財政再生 基 準	
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	15%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	20%	30%
	実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	10.6%	7.3%	25%	35%
	将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	74.7%	52.8%	350%	
資金不足比率 (水道・下水道事業、住宅団地・工業団地造成事業)	資金不足額(赤字額)の事業規模に対する比率	該当無		20%		

まちの財政は「健全基準」にありますが、依然として厳しい財政状況が続いています。

財政の健全さを計る指標を導入し再建の枠組みを定めた「財政健全化法」に基づき、町の財政状況を分析しています。

本町では、計画的かつ健全な財政運営に努めていますが、実質公債費比率や将来負担比率は依然として全道市町村平均を上回っていることから、厳しい財政状況が続いています。



出典：北海道庁ホームページ「北海道内の市町村の財政状況」より

本冊子は、平成30年度の決算概要をご理解いただくため、要点を絞り作成しました。
詳しい内容については、資料編「平成30年度主要な施策の成果表」をご覧ください。
なお、お寄せいただいたご意見、ご感想などを次年度の冊子作成の際の参考とさせていただきます。
町の財政情報を的確に、そして、分かりやすくお知らせしていくためのご意見などをお待ちしております。

発行 / 栗山町

発行日 / 令和元年10月

編集 / 経営企画課行政経営グループ

〒0691512 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地

TEL : 0123-73-7503 (直通) FAX : 0123-72-3179 (代表)

WEB : <http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/> ※ホームページにも本冊子の内容を掲載しています。